

(様式1)

平成30年度 学生の自主的活動プロジェクト企画書

| | | |
|-----|-------------|-------|
| 申請者 | 氏 名 | 熊谷 凌一 |
| | 学 籍 番 号 | |
| | 学部・研究科名, 学年 | |

| | | |
|-------------------|---|----------|
| プロジェクトの名称 | お寺でこどもと遊ぼうプロジェクト | 申請金額 |
| | | 200,000円 |
| プロジェクト団体名 | 雲南わんぱくこどもひろば | |
| 目的・理由 | これまで大学生が地域に出向いて子どもに人形劇をしたり、様々な交流を雲南市木次町のお寺でしていた。しかし、その交流が次第になくなり子どもたちが大学生と触れ合う機会がなくなった。また、仏教学校には学校の先生のような方がいらっしゃり保護観察として存在しているものの、難点としてこの方々らの高齢化により、外で子どもたちと一緒に走り回るなどの遊びを実施することが困難であることが挙げられる。このような状況を変えるため、私たち大学生が仏教学校に参加し子どもたちと外で遊ぶという活動を支援することを目的とする。 ※仏教学校とは……雲南市木次町で隔週日曜日にお寺に子どもが集まって行われているものである。 | |
| 活動概要 | ・月2回、子ども(小学1年生～6年生)10～20人に対して、大学生4人程度が雲南市木次町にあるお寺(1学期:洞光寺 2学期:西善寺 3学期:円覚寺)で開催される仏教学校に参加し、子どもたちと交流する。 ・交流の内容は①室内外レクリエーション②一緒に工作(折り紙などを利用)③子どもたちと自由な話し合いや、話すことを通じた交流などを予定。 | |
| 主な連携先 (予定を含む。) | 木次仏教日曜学校 | |
| 連携する内容 | 木次仏教日曜学校の運営。 | |
| アドバイザー教員 | 所属部署 | 氏 名 |
| | キャリアセンター | 丸山実子 |
| 期待される効果 | (子どもたちにとって期待される効果) ・子どもたちにとって普段かかわらない大学生と触れ合うことによって、新たな発見や普段できない体験を提供できる。 (参加する学生にとって期待される効果) ・将来子どもと関わりたい人の実践の場に行ける。 ・地域の方と連携できる。 ・参加を通じ、コミュニケーション能力や、企画力を向上できる。 (地域に期待される効果) ・活動中の様子を写真や画像などを用いて報告することで、多くの地域住民の方に、学生を通じて島根大学の存在を認知してもらい、今後も地域×大学という協力体制が整うことが期待される。 ・活動を通して、興味関心を抱いた地域住民や大学生に参加してもらうことで、子どもたちだけではなく、広い範囲で交流する人が増え、新たな刺激となり地域活性化に繋がる。 | |
| 成果の公表方法 | Facebookの利用や紙媒体のチラシ、島根大交流会へのブース出展での宣伝や報告を予定。 | |

※ 1)これまでに関連する取組みや実績が紹介された記事など、参考となる資料があれば添付すること。

2)備品等はカタログ、見積書を添付すること。

| | |
|-----------|------|
| アドバイザー教員印 | 申請者印 |
| | |

お寺で子どもと遊ぼう プロジェクト

雲南わんぱくこどもひろば

活動の経緯・目的について

これまでの経過報告

活動内容

- ・ 雲南市に行き、子どもたちの遊び相手をする
計4回
- ・ 出雲市で、会社、島大のサークルと共同で
遊び場づくり 計2回

日曜仏教学校にて 子どもたちと遊ぶ



御本尊開帳記念



平成二十二年九月吉日
明峰山 蓮花寺



出雲で遊び場づくり





達成できたこと

- ・子どもと学生が関わる機会を増やすことができた
- ・子どもたちの日曜学校に対する満足度を高めることができた

反省点

雲南わんぱくこどもひろばらしさとは??

今後の予定

初心に帰る！！